

~~~~~  
このたびの大震災で被災された組合、組合員の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。全ク連では組織の力を結集し、被災者支援につきまして、できることから始めております。ぜひとも全国の皆様の協力をお願い申し上げます。  
~~~~~

●全ク連 民主党生活衛生業振興議員連盟懇談会にて クリーニング業界を代表して震災に係る要望を述べる

4月5日(火)、衆議院第二議員会館にて行われた民主党生活衛生業振興議員連盟懇談会に全ク連・青山亨会長、高田健副会長、柴田健吉専務理事をはじめ、埼玉県・東京都・神奈川県 of 組合役員らが出席し、3月11日(金)に発生した東日本大震災の復興支援に向けた要望を述べた。

今回の懇談会は、各生活衛生同業組合連合会の今大震災に係る要望を一元化して汲み取るために、社団法人全国生活衛生同業組合中央会が取りまとめを行い実現したもの。政府から被災者生活支援特別対策本部の本部長代理である仙谷由人内閣官房副長官が参加するとともに、生活衛生業振興議員連盟会長である赤松広隆議員(全ク連顧問)ら多数の議員が参加し、各連合会の要望に耳を傾けた。

冒頭の挨拶で赤松議員は「この未曾有の大震災の中、生活衛生業も苦境に立たされている。対策は各省庁の枠を超えて仙谷内閣官房副長官に一元化しているので、早急に対応するためにも関係者の生の声や要望をこの場で届けてほしい」と述べた。

懇談会で、青山会長はクリーニング業界を代表して、クリーンライフ協会としてまとめた業界全体の総意として、①病院寝具のクリーニングなど被災者の生活衛生確保のためのクリーニング業界への燃料(重油、ガソリン等)の優先的供給、②被災事業者への特別融資・税制優遇等の配慮、③パート労働力の確保等にかかる計画停電の改善、④原発事故による避難事業者への休業補償の実施を要望した。さらに、福島第一原子力発電所での事故に関して、被



クリーニング業界の要望を述べる青山会長



各連合会の要望を受け、返答する仙谷内閣官房副長官



懇談会の様子

曝の疑いがある利用者の衣服の適切な取扱いについて政府としても見解を明らかにすることも求めた。

こうした要望を踏まえ仙谷内閣官房副長官は「大変厳しい再起の戦いをされていることとお見舞申し上げます。この度の大震災を通じて、生活衛生業が日常生活になくてはならない、日本の豊かさの一端を担っていることを痛切に感じている。早期に平常の消費・生産行動に復帰し、日本全体で東北の大被害をカバーできるような経済構造にしたい。また、計画停電については、冬季の需要のピークは越えたものの、今度は夏季をどうやって乗り切り、経済を活性化させていくかのエネルギー政策を打ち出していかなければならない。夏場の計画停電を避けるために、皆様にもご協力いただきたい」とした。加えて、クリーニング業界の要望である燃料（重油、ガソリン等）の優先的供給について「ある程度具体的にどれくらい必要かを示してもらえれば、政府としてもすぐに動きたい」と言明した。また株式会社日本政策金融公庫の融資に関しても、クリーニングを始め各団体より無利子および返済期間の延長を求める声が相次いだことを受け、「阪神・淡路大震災の時は被災状況により返済期間が延長されたことも鑑み、直接的あるいは間接的に被災され苦しい状態にある方々にも貸付や返済期間の猶予ができるように、具体的なビジョンができれば即時に連絡する体制をとりたい」とした。

今回の意見交換会で挙げられた意見・要望は、全国生活衛生同業組合中央会を通じて回答される予定。全ク連は今後も関係機関との連携を強化し、被災した組合・組合員を支援し復興に向け対処していく。

《各種情報を発信中です》

全ク連ホームページ <http://www.zenkuren.or.jp/>

全ク連ツイッター <http://twitter.com/zenkuren>